



「絵本の読み聞かせ」はいいこといっぱい

まだ言葉の意味が分からなくても、すでに一人で絵本を読むようになっていても、絵本の読み聞かせてこんなに素敵！
長年小学校でたくさんの親子を見てきた太田先生にお話を伺いました。



そもそも「絵本の読み聞かせ」とは



読み聞かせというと、子どもがパパママのお膝に座って1対1で行う親子読み聞かせと、読み聞かせグループなどによる集団に向けた読み聞かせがありますが、それぞれ違うものだと考えています。今回お伝えするのは親子読み聞かせの方です。親子読み聞かせは、子どもが大好きな人と1対1のスペシャルな時間を持つことができます。大好きな人の声で、意味が分からなくても、その声で癒されたり満たされたりするのです。だから読み方が下手でも構わないんです。上手に読めないから動画配信などに頼るという方もいますが、子どもが求めているのは上手とか下手とかではなく、大好きなパパママが自分のためだけに語りかけてくれるスペシャルな時間なのです。兄弟姉妹がいる場合も、短時間でいいので、できれば順番に1人ずつ読み聞かせてあげてスペシャルな時間を作ってあげてください。



読み聞かせのいいところ【子ども編】

主に4つの効果があります。1つ目は言語発達です。まだ言葉の意味が分からない赤ちゃんでも、言葉の音やリズムを楽しむことで言語センスが育まれます。3, 4歳くらいになると、日常では使わない言葉が絵本にたくさん出てきて言語発達につながります。2つ目は集中力と聴解力の向上です。パパママなど身近な人からの心地よい声を聞いてきたので、雑音と大切な音を聞き分ける力が育まれています。小学校に入ってきた子どもたちを見てきて、読み聞かせをしてもらった子は先生の話を中心に聞けることができるというのを実感しています。3つ目は想像力と創造力、共感力の育成です。様々なストーリーを通じた疑似体験により他者への思いやりが育まれます。4つ目は親子の絆の強化です。コミュニケーションという表面的なものではなく、もっと深い絆のようなところに親子の結びつきを形成するように思います。そのことで子どもの情緒も安定し、非認知能力を育てることに繋がっていると思います。

読み聞かせのいいところ【大人編】

大人にも4つの効果があります。1つ目は愛情ホルモンの分泌です。絵本を読んであげることで読んでいる方も満たされる感覚を得られると思います。2つ目は子ども理解の深まりです。「この子こんなことが好きなんだ」「ここで笑うんだ」など、子どもの好みや反応を知ることができます。3つ目はスキンシップが苦手な親でも声で愛情を伝えられる点です。4つ目は親子の共通の話題や体験、文化が生まれることです。



Q デジタルの本と紙の本には違いがありますか？

はい、特に絵本については大きな違いがあります。絵本は芸術的なおもちゃで、形、厚さ、紙質など全てが計算されて作られています。デジタル版では全て同じ大きさの画面で見ることになり、本来の魅力が大幅に減少します。また、小さな子どもにとっては、ページをめくるといふ手先の動作も重要な発達要素です。



Q 絵本の選び方のコツはありますか？

赤ちゃんの場合は図書館の赤ちゃん絵本コーナーから選ぶといいでしょう。子どもが歩けるようになったら、自分で選ぶのを見守り、興味を示したものを尊重することが大切です。親が子どもの興味（動物や乗り物など）に合わせて何冊か選んで提示し、その中から選ばせるのもよいでしょう。本は学習道具ではなく遊び道具と考え、楽しむことを第一に考えてください。子どもが途中で飽きたら止めてもいいんです。

親子読み聞かせのよいところについてお伝えしましたが、親子でスペシャルな時間をもてることが一番大切で、絵本以外にもスペシャルな時間がもてれば絵本にこだわる必要もないです。ただ、絵本は図書館で借りることもでき一番手軽にスペシャルな時間を作れるという点でおすすめです。ぜひ図書館にお子さんと一緒に行ってみてください。



【お話を伺った方】

太田 由枝（おおた・ゆきえ）先生（ポピー教育対話主事）
京都府京都市出身。教職修士。
1982年より京都市立小学校教諭。
2014年より京都市立小学校校長。専門は国語科教育、メディア教育。
小学生アナウンスコンクール審査員・作文コンクール審査員など、
「話すこと・書くこと」「伝えること」領域での実践が豊富。
2020年4月より、全家研ポピー教育対話主事に就任。教職経験を生かした子育て情報の発信や教育講演会などで活躍中。

0歳からOK

音を楽しむおすすめ絵本

「ももも」
作・絵：川之上英子・川之上健
出版社：岩崎書店



「ごぶごぶ ごぼごぼ」
作：駒形克己
出版社：福音館書店



「あめぼったん」
作：ひろかわさえこ
出版社：アリス館



子育てあるある相談室

子育てに悩みはつきもの。実はみんな同じようなことに悩んでる!? 家庭教育教材「ポピー」の教育相談室に寄せられた相談を一緒に考えてみよう。

ベイ★キッズ ×

全家研ポピー



まずは共感、次に小聲で、そっと伝えましょう。

気持ちをうまく言葉にできず、わかってほしい人に叱られると、かんしゃくは悪化します。まずは「〇〇がしたかったんだね」「嫌だったんだね」と共感し、その後「ほかのお客さんに迷惑だから外に行こうね」と耳元でそっと伝え、抱き上げて場所を移しましょう。大声や力ずくは恐怖と反発を招き逆効果です。移動後は「そんなに泣くとお母さんも悲しくなるよ」と静かに気持ちを伝え、落ち着いたら何がいけなかったかを話しましょう。何度か経験することで、我慢すべき場面として子どもの記憶に残っていくことでしょう。

イヤイヤ期が起こる理由を脳科学的にみると、思考力や感情

の制御、判断力などを司っている前頭前野の成長に関係があり、この前頭前野は6歳くらいまでに緩やかに成長していくそうです。この間に子どもは様々な経験を通して心身ともに成長し、親のかかわりの中で、自己肯定感を高めていきます。イヤイヤ期はいつか終わります。今の悩みや苦労を笑って振り返れる日がきっとやってきますよ。

回答：全家研ポピー教育対話主事

その他、よくあるお悩みへの回答は「ポピフルあるある相談室」で検索！



【相談】 外出先でのイヤイヤ どうすればいい？

3歳の男の子です。突然怒り出したり、かんしゃくを起こしたりします。イヤイヤ期なのだと冷静に受け止めようとしていますが、特に外出先でイヤイヤが始まると、親もどうしていいかわからなくなります。子どもを連れて外出するのは気が重いです。